

第10回（9月）定例会では、8人の議員が市政について質問しました。  
なお、今定例会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発出される中での開催となり、感染拡大防止の観点から、会議時間の短縮を図るため、質問者は7つの会派及び無所属から各1人ずつとし、質問形式は一括質問一括答弁方式で行いました。

# 般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
梶 泰久	中学校区統合、学校規模・学校配置適正化、適正化推進委員会	6
渡邊 博夫	水害対策の基本的方策、被災者支援、市高齢者保健福祉計画	7
長田 吉信	沼津駅周辺整備の土地区画整理事業、市営住宅入居の連帯保証人	7
平野 謙	コロナ禍における行政支援の在り方	8
浅田美重子	登下校時の安全確保、特別支援教育、切れ目ない支援体制の構築	8
山下富美子	盛土の異常箇所、7月豪雨の配備体制、庁舎非常用電源の取組	9
岡田 進一	新型コロナウイルス感染防止対策、自宅療養者への支援	9
梅沢 弘	マンホールトイレ、厚木市セーフコミュニティ、公共事業再評価	10

※一括質問一括答弁方式：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式  
※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



## 学校の統廃合を検討する中、 学校における地域を担う人づくりは

梶 泰久



**問** 人口減少が進み、学校の統廃合を検討する中、学校において地域で活躍し地域を担う人づくりを行う考えは。

**答** 教育長／地域学習や地域活動を通じて、子供たちの郷土に対する愛着や誇りを育み、子供たちが積極的に地域に関わろうとする土壌を醸成することは教育の役割であると考えている。地域の宝である子供たちには、主体的に地域を担う存在となり、地域が活力を維持する原動力として貢献してくれることを期待しており、今後も地域総がかりでの教育を推進しながら、子供たちが自分らしく社会に参加する力を育て、同時に地域の絆を強め、本市の人づくりやまちづくりの一翼を担っていききたいと考えている。



▲地域ボランティアのサポートの下、授業を受ける子供たち



▲学校の体育館は災害時の避難所としても活用されている

**問** 統廃合により使用されなくなった学校施設の活用に向けた取組は。

**答** 教育長／統廃合に伴う学校施設の活用は、地域の実情を踏まえ、防災機能の維持、体育施設としての利用、コミュニティ機能の確保、まちづくりの資源としての活用、公共施設として中長期的にマネジメントすべき視点、管理に要する経費など、総合的な観点から検討していきたいと考えている。統廃合の対象となる地域住民からは、統廃合後も運動場や体育館などを使いたいという意見などが寄せられており、今後も引き続き、地域の声に耳を傾けるとともに、施設の有効活用について市長部局と連携しながら丁寧に対応していく。